

平成21年8月12日

各 位

上場会社名 ケンコーマヨネーズ株式会社
 代表者 代表取締役社長 炭井 孝志
 (コード番号 2915)
 問合せ先責任者 常務取締役 奥田 洋
 (TEL 03-5317-1111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,500	570	500	150	11.64
今回発表予想(B)	25,500	1,120	1,050	420	32.60
増減額(B-A)	0	550	550	270	
増減率(%)	0.0	96.5	110.0	180.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	27,153	292	274	149	11.57

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	50,500	1,450	1,300	450	34.93
今回発表予想(B)	50,500	1,750	1,600	530	41.14
増減額(B-A)	0	300	300	80	
増減率(%)	0.0	20.7	23.1	17.8	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	53,193	977	920	300	23.36

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,000	470	420	160	12.42
今回発表予想(B)	21,000	1,020	970	450	34.93
増減額(B-A)	0	550	550	290	
増減率(%)	0.0	117.0	131.0	181.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	22,812	232	235	134	10.44

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	41,500	1,150	1,050	370	28.72
今回発表予想(B)	41,500	1,450	1,350	480	37.26
増減額(B-A)	0	300	300	110	
増減率(%)	0.0	26.1	28.6	29.7	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	44,667	869	855	394	30.66

修正の理由

売上高につきましては、ほぼ従来予想通りに推移しておりますので、売上高予想の修正は連結、個別ともにありません。
 利益面につきましては、前期より実施して参りました製造コストの低減や経費削減等、収益基盤強化への取り組みによる改善効果が、当初の想定を上回った事により、営業利益、経常利益、当期純利益の予想を修正することと致しました。
 しかしながら通期の業績予想につきましては、国内景気の先行きには不透明感が根強く、雇用環境の一層の悪化が懸念されており、また原油価格や穀物価格等が金融危機における混乱時の底値から上昇基調にある事も当社の収益を圧迫するリスク要因であり、予断を許さない状況にあります。この様な経営環境の中、当社グループにおきましては新中期経営計画『KENKO Victory ROAD 2009』の経営指針である「時代の変化に対応できる筋肉質の体制作り」に基づき、グルー

プの経営基盤強化及び拠点最適化に向けての計画を期初から予定しておりましたが、計画を拡充させるとともに推進のペースを加速させるため追加で費用を織り込み、早期の基盤固めを実現するとともに、引き続き販売強化及び収益確保に努めて参ります。

上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上